

ラオスありがとうコンサート



京都市交響楽団

Kyoto Symphony Orchestra

日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年創立。楽器講習会や音楽鑑賞教室、福祉施設への訪問演奏等にも積極的に取り組み、07年「第25回京都府文化賞特別功労賞受賞」等受賞。08年4月、第12代常任指揮者に広上淳一が就任。14年4月からは常任指揮者兼ミュージック・アドバイザーに広上淳一、常任首席客演指揮者に高関健、常任客演指揮者に下野竜也が就任。録音では10年から13年に広上淳一指揮「名曲ライブシリーズ」CDを3枚リリース。16年の創立60周年という節目に向けて、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」を目指して更なる前進を図っている。

田中 祐子
(指揮)

Yuko Tanaka

東京国際コンクール「指揮」入選、プザンソン国際指揮者コンクールのセミファイナリスト、ショルティ国際指揮者コンクールのセミファイナリストなどのコンクール歴を誇り、すでに数々のオーケストラを指揮して好評を博して注目を集める新進気鋭の指揮者。

1978年名古屋市生まれ。東京音楽大学指揮科(特待奨学生)卒業後、東京藝術大学大学院指揮科修士課程修了。指揮を尾高忠明、広上淳一、高関健、汐澤安彦の各氏に師事。さらに下野竜也氏によるマスタークラスを受講。ピアノを隈本浩明氏に師事。これまでに、読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、日本センテリー交響楽団、九州交響楽団、京都市交響楽団、広島交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、セントラル愛知交響楽団などと共演。2013年は、1月にクロアチア国立歌劇場リエガ管弦楽団を指揮、9月には日本フィルとヘンデル「メサイア」全曲を演奏して好評を博す。また、オペラの分野においても、日生劇場、東京室内歌劇場など各地のオペラ団体に参加。特に、池辺晋一郎作曲「高野聖」の世界初演、木下牧子作曲「不思議の国のアリス」の改訂版初演の副指揮者を務めて公演を成功へと導いた。2014年は、広島交響楽団、セントラル愛知交響楽団などとの共演を予定している。

森上 芙美子
(ピアノ)

Fumiko Morikami

大阪音楽大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。

チャイコフスキー記念ロシア国立モスクワ音楽院大学院修了。

音楽院小ホールやラフマニノフホール、モスクワ市内での演奏会に出演。

これまでにユーリ・スレサレフ、原田英代、武岡登志子の各氏に師事。

2011年大阪音楽大学後援ソロリサイタル、推薦リサイタルに出演。

2013年兵庫県三田市にてフォーレクイエム管弦楽団とモーツァルトのピアノコンチェルトを演奏。ラオスの子ども達に音楽を・ムアンムアンミュージック共同代表。

田中 郷子
(ソプラノ)

Satoko Tanaka

兵庫県立西宮高校音楽科を経て、大阪音楽大学卒業。神戸大学大学院修了、田原祥一郎、小野ひとみ、佐々木倫子、Fiorella Prandini各氏に師事。

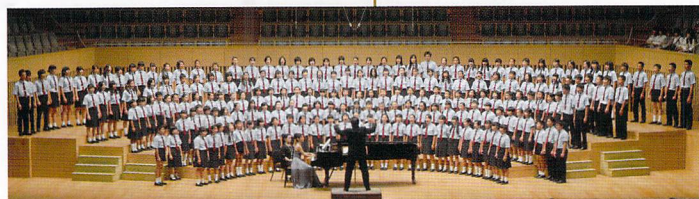
2005年スペイン・パウカザルス音楽堂他のソロリサイタル(日本EU文化年事業)でヨーロッパデビュー。平成22年度ひょうごアーティストサロン賞受賞。2010年国際交流基金の助成を受け第9回メルシ国際音楽祭(トルコ)に参加。

2014年釜山音楽祭(韓国)にて釜山交響楽団と共演。他、国立リヴィウオーケストラ(ウクライナ)、国立キエフオーケストラ(大阪)のベートーヴェン『第九』、モーツァルト『レクイエム』(東京)各ソプラノソロ、国歌独唱、新作初演等のソリストを務める。イタリア、オランダ、トルコ、ラオス、カンボジア、東京、金沢、関西一円のコンサートに出演。チューリヒ(スイス)、アンカラ(トルコ)、国内各地でのソロリサイタルを行う。音楽での交流活動にも尽力し、これまでにラオス教育省、ラオス情報文化省、ラオス大学、コジャエリ大学(トルコ)より感謝状を授与。現在、兵庫県立西宮高校音楽科講師。地球音楽隊『フレンドシップ』代表。ラオスの子ども達に音楽を・ムアンムアンミュージック共同代表。

京都市少年合唱団

Kyoto City Junior Children's Choir

公立初の少年合唱団として昭和33年に創立。京都市内の小学校4年生から中学校3年生まで、総勢200名超の団員が集う。縦割りのグループ「京桜(みやこざくら)」「都紅葉(みやこもみじ)」「みやこ光(ひかり)」、団内オーディションによる選抜グループ「響(びびき)」などグループ活動も充実。



毎週土曜日の定期練習を基本に、毎年、定期・修了演奏会を開催。

平成20年度には、ドイツのエッセン市・ケルン市へ初の海外演奏旅行を敢行。平成22年度には音楽監督のポストを新設し、当合唱団修了生の加藤完二氏を音楽監督に迎え、練習会場を京都市立京都堀川音楽高等学校に移転。平成23年度には、「第5回全国男声声楽アンサンブルコンテスト」にて、「みやこ光(男子)」が「最優秀賞」と「市民が選ぶ三田賞」を同時受賞。団員同士の切磋琢磨により合唱への情熱や向上心を高め、全団員の一層の成長・飛躍を目指している。